

第77回

## 樋口 あや 氏

(東京電機大学 理工学部 理工学科 理学系)



## 最新望遠鏡で探る星・惑星系形成

私たちの太陽系は、宇宙空間の分子ガスや塵が重力収縮して太陽を形成し、その後太陽周辺に形成されたガスや塵の円盤内で惑星が生まれ、最終的にガスが散逸して完成したと考えられています。近年、大型望遠鏡による観測で、このような惑星系の形成現場を捉えることができるようになってきました。本講演では、チリのアタカマ砂漠に建設されたアルマ望遠鏡や、ハワイのすばる望遠鏡について紹介し、最新の観測結果を紹介したいと思います。また、現在関わっている次世代宇宙望遠鏡（Black Hole Explorer, 2031年打ち上げ予定）やSquare Kilometer Array（SKA）のプロジェクトについても紹介し、今後の研究方針についてお話ししたいと思います。

Credit: ALMA (ESO/NAOJ/NRAO)



おうし座HL星



太陽系



↓参加登録はこちら↓



# 2月25日(火) 16:00-17:30

武蔵野大学有明キャンパス、4号館411教室、ハイブリッド開催

参加ご希望の方は、右上のQRコードより参加登録をお願いいたします。

参加費無料

登録締切：2/24(月)

国際展示場駅 徒歩7分  
東京ビッグサイト駅 徒歩6分



コーディネーター：時弘 哲治（武蔵野大学工学部数理工学科 教授）

問い合わせ先：武蔵野大学数理工学センター

[https://www.musashino-u.ac.jp/research/laboratory/mathematical\\_engineering/](https://www.musashino-u.ac.jp/research/laboratory/mathematical_engineering/)世界の幸せをカタチにする。  
Creating Places & Possibilities for the World